

## 共命(ぐみょう)鳥

勝林寺  
寺報

ご法事などのときあげるお経に「阿弥陀経」というおつとめがあります。この阿弥陀経は極めて短いお経ですが、お淨土のようすとお淨土の如来さまのおはたらきが説いてある大切なお経です。

ところでこの阿弥陀経のなかに、さえずり鳴いている沢山な鳥のいることが説いてあります。白鶴・孔雀・鸚鵡・舍利・迦陵頻伽などの鳥にまじって「ぐみょう(共命)」という名のとりがあります。グミョウのグとはトモ(共)という字。共通の共という字が書いてあります。いのちを共にしている鳥、共通のいのちを生きている鳥という意味です。すなわちこの鳥、頭・顔はふたつ別々にあるのにからだは一つ。ひとつからだに二つの頭がついている鳥です。

とてもいい声で鳴く鳥で、ほかの白鶴や孔雀や鸚鵡などの鳥たちといつしょに、そのいいこえ声で、如来さまのご説法を歌のようにさえずり啼くのだそうです。つまりこれらの鳥は、如来さまが、鳥のすがたや声をかりてご説法をなさるためを集められた鳥だということです。

それにしても何で如来様は、共命の鳥などという、からだ一つ頭二つの妙な鳥に、何の説法をさせようとなさるのでしょうか。

阿弥陀経には、「さとりへの道(菩提分・八正道など)」を説かせるためとあります。

「命の鳥  
共命の鳥  
そのことに気づかず、頭どうしいがみあ

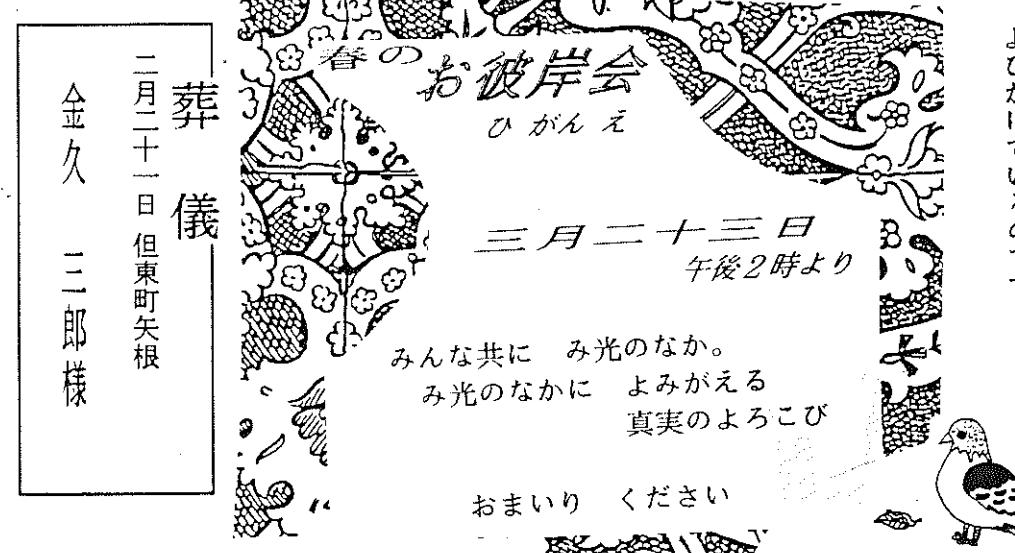
い争いあつたのでは、共に破滅してしまふよ。めいめいがエコジな「我」を張り合つて生きていなくて、共通のいのちを共に生きる生き方に目覚めなさい。それがさとりというもの」

如来様は共命の鳥を通して、こう教えてくださっているのです。

これはわたしの物、わが民族の領分。この考えが正しい、お前の考えは悪魔の考えだ。

我と他人とが対立し、彼と此れとが排除しあい。差別したたかいあつて、間にも双方共に滅んでしまいます。

わたしも彼も、だれもが共に生きる大きいのち(無量な如來のいのち)に帰りつき、そこをより所に生き返りなさい。共命の鳥は、今もお淨土から、わたしによびかけているのです。



金久二郎様  
葬儀  
二月二十一日 但東町矢根

坊守さま  
見えてやつて  
上小田  
岩上加代子

## 三月のことよみ

一日 立脇晃氏宅法事  
本山  
七日 出石組基幹運動推進委員会  
中山隆雄氏宅法事  
八日 本覚寺法事

昭和60年9月に「初参式」をあげていたいた孫の絃太も、はやいもので今年は一年生に入学することになりました。またお寺から入学のお祝いを頂くのです。

生まれて40日目から預かって、今までおかげさまで何事もなく過ごさせていただきました。それにしても私にとって一番の喜びは、とくべつ教えたわけではないのに、私が毎朝お仏飯をお給仕するのを見ていたのでしょう、いつやらほどからか小さい手を合わせてお仏壇にお礼するようになつたことです。

「ボクがおおきくなるようにとおがんだ」ともうします。

ずいぶんな元氣者ですから、何回かこわい事や危険な目にあったことがあります。したが、そんなときにもきまつて「ノンノンさんがボクを守つてくれたんだナ、助けてくれたんだナ」と言います。

人様からみればさぞかし親ばかもいいところと笑われるでしょうが、ただ私は、この気持ちで仏様に手をあわすことをつけたかったのです。

この子、坊守さまにはとてもかわいがつていただきました。絃太も坊守さまが大好きでした。

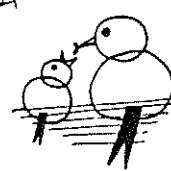
今日のこの子の姿を坊守さまに見ていただけないのが残念です。

私はそれでもこころのなかでいつも思っています。

坊守さま、この子の成長、見てやってください。

## 法輪会

春の研修会



法輪会は出石組の「連研」を履修した人達の集まりです。「連研」で聞法の大切さを知ったこの人達はここ十年、春秋二回集まって研修会をしています。勝林寺が会場です。法輪会員は漏れ無くご参加下さい。

三月  
二八日 岩出酒一郎氏宅法事  
二九日 長寿寺彼岸会法座  
三〇日 仏壯仏婦合同役員会  
三一 日 湯口久義氏宅法事  
三二日 田中啓次氏宅法事  
三三日 岩出酒一郎氏宅法事  
三四日 仙波山丘会  
三五日 みのりを聞く会  
三六日 島根県羽賀美淨福寺慶讚法要  
三七日 同じ  
三八日 仙波山丘会  
三九日 本山



「ことども虐待」  
110番  
東京の「ことども虐待防止センター」が昨年五月から始めた「ことども虐待」(10番)に、ここわずか半年の間に約九百件もの電話の相談や訴えがあつたそうです。世界から羨望されるほどの繁栄を続けるこの日本の社会のその裏側に、育児子育てに悩みぬき苦しめぬく母親がどれだけいることか。そしてその産みの母親の虐待のなかで、こころやからだをきづけられ殺されてしまう幼いいのちが、こんなにもあつたのかと驚かされました。

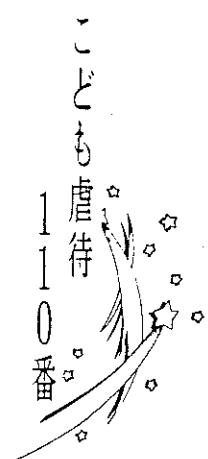
産みの母親が、なんでわが子を虐待し、なんでおさな子を死にいたらしめるのか。こんなムゴいことがなぜ起るのか。ひとことでなく考えさせられました。

思うようにいかない子育てに悩み戸惑いSOSを発してくるのは、若いしかも高学歴の母親に多いことが目立ちます。その一例、

6才の男の子をもつ母親です。その子は服を着るのも靴をはくのも遅い。グズれないので、自転車も補助輪がなければ乗れない。「男らしくないのが不満です。カッとなつてたたいてしまいます。近ごろでは顔もみたくない。布団で口を押されたんです」。この母親は中学高校優等生だった。その自分のことものが何といふとか。ことに住宅住まいでは周りに見られるのが恥ずかしい。それで家中に閉じ込めてしまふのだそうです。

わたしの子なら当然こうあるはず。わたしは活潑で優等生だった。だから子供も…。そんな母親の親心というか願いと言うか、そんなワクをこどもに押し付けようとする。

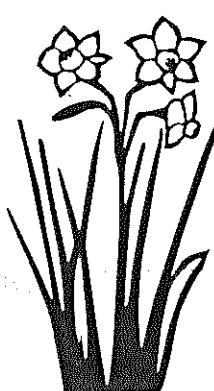
しかしそのワクのなかにうまくはまってくれない。「なんでこの子は。顔も見たくない、人様に見られるのが恥ずかしい、殺してしまった方がいい」



「ことを無理やり自分のワクの中にはめ込もうとする母親は、そのまえにもともわたしは優秀なのだ優等生なのだ」という誇りと「う高慢のところ」のワクでがんじからめ自分を縛り付けてしまっているのではないのでしょうか。

蚕さんのように、じぶんで吐き出す我慢の糸で自分を縛りつけながら生きているもの。自分を縛るだけではなくその我慢のワクでしか人も物も見られない「尺取り虫」のような生き方をしているもの。

「ワク・限定・条件のない大きい広い真実清浄な世界に生まれかわらせてやりたいと働いてくださるのが実は『尽千方百碍光如来』(南無阿弥陀仏)のおはたらきであつたことを思い、あらためてお念佛申し、ひとごとならぬ我が身の生きようを厳しく願ひさせて頂きました。



### 新門徒総代 決まる

二月九日、二十八部落代表三組織代表による代議員会は例年どおり寒氣ひとしおな日でしたが、議案は「勝林寺寺報(臨時号)」の原案どおりすべて承認可決されました。

最後に「運営規定」によって門徒総代の選考がありました。選考委員会による長時間慎重な選考の末、住職が次ぎの方々へ委嘱して今期(4年間)の総代様が決定されました。

生田 龜井 田中 関岡 坪石 宮嶋 幸男  
善七 様 (出合)

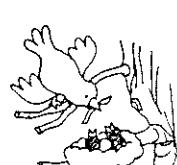
### ダーナ慰問 有り難うございました

出石・百合  
谷原 ふじ

思ひもよらぬ大雪に見舞われ、お寒いことでござります。ダーナの日には遠いへんびなところまで、ほんとうにご苦労様でした。

いままで五回も訪問していただき、「おばさん、お元気ですか」

とたずねてくださった坊守さまの、あのにこやかな笑顔、はれやかなお声が、いまもはつきり脳裏に焼きついています。



### （仏事） 共に念佛をうべここう

何回もの準備役員会をかさねて2月6日総会がもたれた。過年度の経過・決算承認のうえに新年度への計画が審議された。行動ある念佛者になろう」をスローガンに掲げ、行事研修会に積極的に参加する中で聞法を重ねようなどの四つの努力目標を決め行事日程・年度予算も決定可決した。

当日理事が年間会費を集めることになりました。昨年を超える会員数の会費がこの日に収められた。過疎老齢化地域での数の会員の参加がえられるることは仏事活動が全域にみとめられ期待されていることを受け取れる。一層の活気ある活動を念じます。



（仏事）  
み名稱ちつ  
日々感謝  
今を生き抜く  
出石組 湯口久義

兵庫教区門徒推進員連絡協議会